

すずぎのこ巡回劇場

10月21日と12月2日の2回、劇団すずぎのこによる人形劇『わらって！リッキ』が上演されました。

10月は鶴田中央公民館、12月は宮之城ひまわり館で開催され、約280名の親子と一緒に人形劇を楽しみました。片方の耳が垂れ下がっているうさぎの男の子『リッキ』が、お父さんお母さんの励ましで元気に育っていく姿に親子で泣いたり笑ったりする姿が見られました。最後は人形たちに見送られ、人形に触れたり握手をしたりしながら喜んで会場を後にしていました。



人形劇に夢中になる子どもたち

交流を深める参加者



ちくりんオーナー交流会

12月4日、竹林の地主さんと竹林の借り手であるオーナーとの交流会が行われました。

16年度に始まったオーナー制度の活用で500㎡48区画43名が休みを利用して竹林の整備に精を出しています。交流会には鹿児島市から駆けつけた方や関係者合わせて約50名が参加し、研修会や地区の女性グループによる郷土料理を味わいながら和やかに交流を深めました。

日頃の苦労話に花が咲き、今回の交流を楽しみにしていました。

食農フェスティバル

12月9日、わかば食農フェスティバルが佐志小学校で行われました。

これは、児童に食べ物の大切さや尊さを気づかせ、食農に対する理解を深めてもらう目的で行われたものです。

同校の1・2年生が焼き芋、3〜6年生がねったぼ、おにぎり、もちつきを保護者などの協力を得て作り、日頃お世話になっている地域の方々と試食しました。地域の方々は、児童が一生懸命作った料理をおいしそうに食べていました。



ねったぼ作りに挑戦

平川小と調印式

12月12日、平川小と下平川集落協定の調印式が行われました。

平川小学校では、30年ほど前からPTA活動の一環として、児童と一緒に農作業の大変さや収穫の喜びを知ろうと学校近くの田んぼに学習農園を開設し、田植え・稲刈りなどの活動を行ってきましたが、今回、下平川集落協定と協定を結んだことで、稲作に関することはもちろん、学校やPTAと一体となった活動が展開できるようになりました。

久保校長は、「地域の皆さんの協力が得られ大変ありがたい。今後、校内清掃作業や児童の見守りなど、地域と一体となった活動に期待したい。」と話されました。



調印式の様子